

成人健診 受診しましたか？

日本人の死因第1位であるがん。日本では、年間約80万人が新たにがんになっていくといわれています。また、一生のうち、2人に1人はがんになるとも言われています。また、一生のうち、2人に1人はがんになるとも言われています。しかし、医学の進歩により、早期発見、早期治療で治るがんも増えています。がんは、症状が出てからの受診では遅いこともあります。そのため、健診を受けることが大切です。

◆がん健診は無料です

市のがん健診は、対象者であれば、無料で受けられます。がん健診を受診後「さらに詳しく検査が必要」と判断されると、紹介状が届きます。

◆特定健診で生活習慣病を予防
国保特定健診は、血液検査や尿検査、血圧、心電図、眼底検査などを行い、生活習慣病を早期に見つけるためのものです。紹介状が届いても、必ずしもがんというわけではありませんが、必ず早めに医療機関で受診しましょう。

◆特定健診で生活習慣病を予防
国保特定健診は、血液検査や尿検査、血圧、心電図、眼底検査などを行い、生活習慣病を早期に見つけるためのものです。紹介状が届いても、必ずしもがんというわけではありませんが、必ず早めに医療機関で受診しましょう。

期に発見するため実施しています。生活習慣病は、日本人の死因の約3割を占めており、予防が重要な病気です。病院で血液検査を受けていても、未調査の項目もありますので、特定健診を受けることをお勧めします。

◆まだ、間に合います！
市の総合健診・ミニドック健診は、7月21日(火)まで行っています。また、22日(水)は、夕方健診、29日(水)および8月5日(水)は、夕方大腸がん健診を実施します。対象地区以外の会場でも受けられます(連絡は不要です)。

対象者で、まだ、健診(検査)を受けていない人は、ぜひ受診して、自身の健康管理に役立てましょう。



福祉 NETWORK

生活にお困りの人はご相談を
「はちまんたい暮らしの支援室」を開設しています

生活にお困りの人の自立を支援する国の新しい制度が始まっています。

これは、生活に困っている人にお金や物品を差し上げるといった制度ではなく、本人の暮らしの自立を支援するために相談に応じたり、就労の支援をしたりするものです。

市は、相談支援業務を市社会福祉協議会に委託しています(はちまんたい暮らしの支援室)。



来所した人からの相談受け付けが基本ですが、電話による相談や、訪問して相談に応じる場合もあります。なお、離職などにより住居を失った人、

または失う恐れの高い人には、就職に向けた活動をするなどを条件に、家賃相当額(上限あり)を支給できる場合があります(一定の要件を満たしている人が対象です)。

詳しくは、下記窓口にお問い合わせください。

はちまんたい暮らしの支援室

- 場所 市社会福祉協議会内(野駄19-50)
- 連絡先 ☎0195-74-4400、ファクス0195-74-4402
- 相談日 月曜日から金曜日(祝日などの休日、年末年始を除く)
- 時間 午前8時半から午後5時15分まで

2016 希望郷 いわて国体 そばっち通信

Vol. 2



市大会スローガン
きそえ つどえ かがやけ 農と輝の大地で

希望郷いわて国体市実行委員会では、ホームページ(<http://www.hachimantai-kokutai.jp/>)やfacebookで情報を配信中！
右のQRコードを読み取ると、直接ホームページにアクセスできます。



今年も「花いっぱい運動」を実施

昨年も実施した「花いっぱい運動」を今年も実施します。

「花いっぱい運動」とは、国体の推奨花を競技会場などに飾り、全国から訪れる皆さんを温かく迎える運動です。また、花を育てることを通じて、市民の皆さんにも国体に参加していただくことを目的としています。



プランターに花を植える児童
(6月17日、大更小学校)

昨年育成した花のプランターは、合計630基でしたが、今年は、45の学校や団体、プランター里親事業に申し込みいただいた皆さんから、合

計1276基を育てていただきます。

育てた花のプランターは、リハーサル大会の会場に飾り付けます。競技観戦の際は、市民の皆さんが心を込めて育てた花も、ぜひご覧ください。

◆プランターを設置するリハーサル大会の開催日と会場

- ▶相撲＝8月23日(日)、市総合運動公園体育館
- ▶ラグビー(少年男子)＝8月20日(木)～23日(日)、市ラグビー場
- ▶ライフル(C P 除く)＝10月10日(土)～12日(月)、田山射撃場・旧田山中学校特設会場・田山小学校体育館

市国体サポーターズ応募者数
(平成27年6月22日現在)

23
冬季大会

26
本大会

皆さんの応募
お待ちしています



地域おこし協力隊だより (17)

今月の担当：菊池光洋

皆さん、はじめまして。4月から地域おこし協力隊になった菊池です。

私は4月から5月にかけて、安比八幡平ふれあい塾で修学旅行・野外活動の受け入れを行っていました。今回受け入れたのは、北海道・仙台北上からの中学生で、八幡平温泉郷や安比高原周辺の宿に泊ったり、農業体験をしたりしました。

その中で、どの学校の先生も共通で話していたことがあります。それは「学校では見ることができない、生徒の顔や話が聞けて、とても良かった」ということ。宿



宿泊先オーナーと記念撮影する学生

将来的には、市内をコーディネートし、地域と外をつなぐ窓口役を仕事にしていきたいと思っています。今後いろいろな体験を増やしたいと思いますので、体験の受け入れに興味のある方は、お気軽にお声掛けください！